Press release

2026 年 11 月 18 日

独立行政法人日本スポーツ振興センター
富士通株式会社

日本スポーツ振興センターと富士通、体操選手の国際競技力向上に向けて、骨格認識 AI を活用した先進的な共同研究を開始

客観的な動作データをコーチングに活用し、選手の技術習得プロセスを可視化

独立行政法人日本スポーツ振興センター（注 1）（以下、JSC）と富士通株式会社（注 2）（以下、富士通）は、日本の体操選手の国際競技力向上に向けて、人の動きを高精度かつ即時に 3 次元デジタル化する骨格認識 AI（注 3）を選手強化に活用する共同研究を 2026 年 11 月 18 日から開始します。

本共同研究では、トレーニングの現場において骨格認識 AI を活用して選手の動きを可視化し客観的なデータをもとに分析します。それらのデータに基づく指導内容に沿って練習を重ねることで、選手が高得点獲得に向けて審判の判定基準に沿った理想的な動きを習得することを支援します。また、JSC のハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）国立スポーツ科学センター（JISS）と富士通の研究員はリサーチキャンプ（注 4）等を通じて、骨格認識 AI の活用による指導内容や選手の技術習得の状況を観察・記録し、客観的なデータに基づいた指導方法の有用性について検証を行います。

両者は本共同研究を通じて、日本の体操選手の競技力向上と国際大会におけるメダル獲得への貢献を目指します。



共同研究開始についての記者会見の様子。
左から、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 芦立 訓、
富士通株式会社 執行役員専務 パブリック事業 CEO 林 恒雄

【背景】

技の複雑化や高度化が進む体操競技で高得点を獲得するためには、選手が理想的な動きを理解し習得することの重要性が高まっており、その習得を支える客観的なデータに基づく効果的な指導方法の確立も求められています。このニーズに対応するため、JSC と富士通は、人の動きをデジタル化する富士通の骨格認識 AI をトレーニング現場に導入し、審判の判定基準に沿った理想的な動きの習得と指導者のコーチングに関する検証を行う共同研究を開始します。

【共同研究の概要】

1. 研究期間

   2026 年 11 月 18 日（水曜日）から 2029 年 3 月 31 日（土曜日）まで

2. 場所

   ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）

   味の素ナショナルトレーニングセンター（所在地： 東京都北区西が丘 3-15-1）

3. 共同研究の内容

   本共同研究では、JSC と富士通が、公益財団法人日本体操協会（注 5）による体操競技日本代表選手の練習において骨格認識 AI を導入し、選手の高速で複雑な動きをデータとして可視化するとともに、取得したデータを審判の判定基準と照合して分析します。分析データは、高得点獲得に向けて理想的な動きの習得を目指す選手や指導者に対し、練習の中で即時に提供されます。また、JSC と富士通の研究員が連携し、リサーチキャンプ等を通じて選手のトレーニングと指導者のコーチングの様子を観察し、情報処理技術やバイオメカニクス、コーチングの知見を組み合わせた視点から、選手が技術を習得していくプロセスや指導方法の変化を記録します。今後、本共同研究における指導内容や選手の競技力の変容を検証することによって、客観的なデータに基づく新たな指導方法のモデル確立の可能性を検討します。

4. 両者の役割

   JSC：リサーチキャンプ等での参与観察、指導方法の変化に関するデータの取得・解析・検証、情報処理技術・バイオメカニクス・コーチングの知見の提供。

   富士通：骨格認識 AI による体操選手の技術習得プロセスの変化に関するデータの取得や解析。リサーチキャンプのためのデータの提供。

【今後について】

両者は本共同研究を通じて、最先端のテクノロジーとスポーツ科学の融合により、国際大会での日本の体操選手の競技力向上への貢献を目指すとともに、スポーツ分野における AI 活用の新たな可能性を追求します。また、本共同研究で培ったデータや知見を選手の競技力向上への活用にとどめず、スポーツを通じた国民の健康増進やライフパフォーマンスの向上への活用も検討していきます。

【日本スポーツ振興センター 理事長 芦立 訓のコメント】

日本体操協会様との緊密な連携のもと、富士通様とともに体操競技を対象とした新たな共同研究を開始できますことを、大変心強く、また喜ばしく思っております。アスリートが世界の頂点に挑み続けるには、データや科学的知見による高度なスポーツ医・科学支援が不可欠です。本共同研究では、富士通様の骨格認識 AI により審判基準に沿った身体動作を可視化します。

本共同研究では、JISS の研究員がトレーニング現場においてリサーチキャンプを実施し、骨格認識がコーチングやアスリートの技術習得にどう貢献できるかを記録の上、客観的なデータに基づいた現場指導の有用性を検証しま

す。現場の優れた実践知、富士通様のテクノロジー、HPSC のスポーツ医・科学の知見が三位一体となり、選手の国際競技力向上に貢献いたします。

JSC は、本研究を先導的なモデルケースとし、HPSC を中心に、これまで培ってきた知見と大学・企業等の皆様の優れた技術を融合させながら研究・支援を推進する「ハイパフォーマンススポーツ・ハブ」としての機能を更に強化するとともに、引き続き JOC・JPC と連携・協働し、持続可能な国際競技力向上に寄与してまいります。

【富士通株式会社 執行役員専務 パブリック事業 CEO 林 恒雄のコメント】

このたび、日本スポーツ振興センター様との共同研究を開始できることを大変喜ばしく思います。

日本スポーツ振興センター様が有するスポーツ科学に関する高度な知見と、富士通が事業モデル「Uvance」のもと提供する骨格認識 AI をはじめとするテクノロジーを掛け合わせることで、アスリートの可能性をさらに引き出し、日本の国際競技力向上を日本スポーツ振興センター様と共に進めてまいります。

加えて、本共同研究では、これまで経験や感覚に委ねられてきたハイパフォーマンス領域をデータによって可視化します。またそこで得られた知見を、人々の健康やウェルビーイングを支えるライフパフォーマンス領域へと展開し、スポーツから社会へ新たな価値を届けることを目指します。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【注釈】

注1　独立行政法人日本スポーツ振興センター：

所在地 東京都新宿区、理事長 芦立 訓

注 2　富士通株式会社：

本店 神奈川県川崎市　代表取締役社長 時田 隆仁

注 3　骨格認識 AI：

「Uvance」の AI Technologies and Solutions を通じて提供する人の動きを高精度かつ即時に 3 次元デジタル化する AI。

「Uvance」は AI が世界を再構築する時代に、お客様の変革の実現にコミットし、社会価値をも創出する事業モデルとして、コンサルティング・Forward Deployed Engineer（FDE）、アプリケーション・AI エージェント、プラットフォームの 3 層をフルスタックで提供し、お客様固有の知見や経験を活用した AI Transformation を実現する。

注 4　リサーチキャンプ：

ハイパフォーマンススポーツにおける課題解決に資する研究課題の設定を起点とする。HPSC スタッフと競技団体関係者が協働して研究を設計し、強化合宿の中で支援と研究を統合した枠組み。

注 5　公益財団法人日本体操協会：

所在地 東京都新宿区、会長 藤田　直志